



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
発行責任者 宮島喜文
編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

- P1～P2 令和5年度地域ニューリーダー育成研修会を開催
P3～P6 全国「検査と健康展」2023 各地からの報告 3回
P7 現行制度の下で実施可能な範囲のタスク・シフト/シェアに関する研修会を本日から開催

令和5年度地域ニューリーダー育成研修会を開催

令和6年1月20日～21日に地域ニューリーダー育成研修会を東京都中央区晴海で集合型研修として開催しました。本研修5年計画の2年目となり、各都道府県技師会から推薦いただいた45名が参加しました。

地域ニューリーダー育成研修会は、平成26年度より組織活性化及び組織強化事業の一環としてこれまで8回開催されてきました。7回までを第1期としており昨年より第2期として5年計画で実施しています。

日臨技においてもさらなる組織の活性化と強化が必須であり、その一環として都道府県技師会において新たなリーダーの育成を目的としこの研修会を実施しています。また次の時代を担う技師の組織強化を図るための方策を考える機会とし、技師同志が交流を深めることにより、都道府県技師会間における情報共有や提供、連携の推進を図ることも目的の1つとしています。

第2期は5年計画として、始めの3年間は、当研修会を受講されていない各都道府県技師会より推薦された正会員を対象とし、4年目と5年目は、3年間で受講いただいた方々に再度受講いただきフォローアップ研修を実施する予定です。

今年度は、日臨技システムによるオンデマンド研修と集合型研修のハイブリット研修会で開催しました。

事前研修として、令和5年12月22日（金）～令和6年1月15日（月）の期間で日臨技事業の説明をオンデマンド研修として受講していただきました。

集合型研修として、令和6年1月20日（土）～21日（日）には東京都中央区にあるL stay & grow 晴海において集合型研修を実施しました。

集合型研修では、第1期生の和歌山県臨床検査技師会の田中規仁会長と佐賀県臨床検査技師会の石隈麻邪副会長から講話をいただき、夕方からは宮島会長から求められるリーダーについての講話をいただきました。

研修では、MTS (Management by Target Setting) ステップ表を用いた目標設定から達成までのシナリオ作成技法として個人ワークとグループワークを実施しました。1日目はMTSステップ表の説明、個人ワークでステップ表を作成し、続いてグループ分けしグルー

令和5年度 地域ニューリーダー育成研修会 プログラム

日臨技システムによるオンデマンド研修

視聴期間：令和5年12月22日（金）～令和6年1月15日（月）

●日臨技事業の説明について

1. 学術・事業全般 (長沢副会長)
2. 政策渉外・総務全般 (丸田副会長)
3. 精度管理・精度保証 (滝野専務理事)
4. 組織運営・事務運営 (深澤専務理事)
5. 政策渉外・組織対策 (益田常務理事)
6. 学会・認定・生涯教育・出版 (白波瀬執行理事)
7. 支部運営 (神山執行理事)
8. 財務・広報 (宮原執行理事)
9. 職域拡大・チーム医療/タスク・臨地実習・検体採取 (勝山執行理事)

集合型研修1日目：令和6年1月20日（土）

●第1期生からの講話

(佐賀県臨床検査技師会 石隈副会長)
(和歌山県臨床検査技師会 田中会長)

●講習：MTS (Management by Target Setting) ステップ表

1. MTSステップ表とは
2. 個人単位ステップ表作成・発表
3. グループ内テーマの検討・ステップ表作成

●宮島会長講話

集合型研修2日目：令和6年1月21日（日）

●グループワークステップ表発表会

- 研修振り返り・講評
- 修了証書授与

プ毎にテーマを考えグループワークを行い、2日目に代表者によるプレゼンテーションをしていただきました。プレゼン内容から、「会長賞」「第1期生賞」を設け表彰しました。

次年度も新たな人材を各都道府県技師会から推薦いただき、都道府県技師会の企画運営などを担っていただくとともに日臨技運営にも携わっていただける人材育成に取り組んでまいりますので、都道府県技師会及び会員皆様のご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

(常務理事 益田 泰蔵)

令和5年度地域ニューリーダー育成研修会に参加して

久保 光史（和歌山県 済生会和歌山病院）

藤村 博和（滋賀県 滋賀医科大学医学部附属病院）



会長賞：Eチーム



第一期生賞：Hチーム

令和6年1月20日、21日開催の「令和5年度地域ニューリーダー育成研修会」に参加しました。参加にあたり、事前研修として日臨技事業に関する9つの動画コンテンツを視聴、そのうえで、「日臨技や地臨技を活性化させるためには」との課題に対し、パワーポイントを作成提出しました。

集合研修においては各都道府県からの参加者がA～Hの8つのグループに分かれ、まずは第1期生からの講話とMTS (Management by Target Setting) ステップ表について講義を受けました。第1期生の講話では石隈先生よりマネージャーとリーダーの違い・ビジョンの共有・傾聴・コミュニケーション、田中先生からはサーバント型リーダーシップスキル・プロジェクトデザインマトリックス・アサーティブコミュニケーションスキル・心理的安全性など組織、チームで活動する際に必要な思考・手法を学びました。

MTS (Management by Target Setting) ステップ表では、「何を・いつまでに・どのように・なぜ・誰が・何に留意しながら」をポイントに作成の三原則（目標への強い欲求を持つ・一切のマイナス思考を断つ・目標に関わる人々への感謝と信頼）を学びました。特に目標設定の際のNG表現については、自分自身の目標設定の際について使っていることを振り返ることができました。宮島会長の講話では、ご自身の人生経験を踏まえ一人の人間として、また一人の臨床検査技師として、個性を活かした人生を送って欲しいとの熱いエールをいただきました。

これらの講演を踏まえ、グループワークの課題である「会員にとって魅力ある日臨技・地臨技とする方法」についてグループ討議を行いました。まず我々Eグループは事前に各自提出した課題資料を基にメンバー個々の思考・思いを共有することに時間を割きました。その結果、不思議なことに個々の思いの異なる部分を繋ぎ合わせると一貫したテーマが完成するのではとの気づきに至り、チーム名：Beautiful Life、目標名：『Work Life Balance ～魅力的で幸せな人生を～』を完成することができました。間違いなく、メンバー誰ひとり欠けてもこの目標を完成することはできませんでした。このような、有意義な機会を与えてくれました関係者の皆様、ならびにEグループの皆様（小塚さん・山中さん・手嶋さん・谷口さん・四元さん）に感謝申し上げます。

「令和5年度地域ニューリーダー育成研修会」に参加させていただきました。Zoomによる事前研修会をオンデマンド型で行い日臨技の事業内容を各担当理事から拝聴し、普段触れる機会のなかった職能団体としての業務と意義を学びました。次に2日間の集合型研修にて現在地臨技で会長、副会長の要職を担っている第1期生の講和、MTS (Management by Target Setting) ステップ表の作成、宮島会長の講話、MTS ステップ表の発表という内容で「リーダー」としての意識付けと課題解決能力を鍛えました。

46都道府県（1名病欠）の代表者が1つの部屋に集まり、年代は30歳代から50歳代、役職も平社員から技師長、専門分野では第一線で活躍されているような方も含め、様々な方々が一つの目的に向かって年齢も役職も関係なく対等に議論し切磋琢磨できる環境だったことに今更ながら大変貴重な経験をさせていただいたと感じております。事前に振り分けられた8グループが翌日発表会のためにそれぞれのテーマでステップ表の作成にとりかかりました。我々のグループは検査技師の知名度向上のためインパクト重視、極力実現可能、時間内に終わらせることを目標として会長賞を取るかピエロになるかを覚悟し5人で議論し合いました。最初に個人で作ったMTSステップ表では時間内に終わらない、ステップのバランスが悪いなど作成に難渋したことが5人になると湯水のようにアイデアが生まれ形になっていく面白さに引き込まれていったことを覚えています。

神奈川の谷ヶ城様、岡山の山内様、佐賀の野口様、そして2日目泣く泣くリタイアされた茨城の海野様、短い間でしたが充実した2日間をありがとうございました。その他にも限られた時間の中で交流した次世代の日臨技や地臨技を背負う方々と過ごせたこの2日間は私の人生の良い刺激と経験になりました。最後にこのような研修会を企画していただきました日臨技の方々、命がけで2時間以上の講和にてリーダーとは何か、生きるとは何か、噂の真相などをご講演いただきました宮島会長ありがとうございました。皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

全国「検査と健康展」2023 各地からの報告 第3回

長野県



臨床検査についての正しい知識と普及啓発を行う活動として行われている全国「検査と健康展」を、長野県は11月19日にアイシティで開催しました。イベント内容は動脈硬化測定(ABI)や頸動脈エコーなどといった健康チェックコーナーと顕微鏡や超音波装置の体験コーナー、臨床検査技師の仕事紹介やいろいろな臨床検査紹介のパネル展示を行いました。また、長野県診療放射線技師会のご協力で骨密度測定、医師による健康相談も行いました。

総来場者数は約250名で、ABI 99名、体組成 100名、頸動脈エコー 107名、血糖・HbA1c測定 72名、認知症検査 68名、顕微鏡説明 178名、超音波装置説明 70名、放射線技師による骨密度検査 187名、医師による健康相談 13名の参加がありました。

健康チェックコーナーでは年齢層の高い方々に多く参加いただき、日々の健康づくりへの意識向上につながったのではないかと思います。また、体験コーナーでは子どもから大人まで幅広い年代の方に参加いただき、意外にも大人の方が興味を持って顕微鏡や超音波装置の操作を行っていたのが印象的でした。

幅広い年代の方々が参加いただき、臨床検査技師についての正しい知識の普及ができた活動であったと思います。

(長野県臨床検査技師会 奈須 喜美子)

富山県



今年は4年ぶりに通常開催となり、体験コーナー内容は血管年齢、骨年齢、認知症検査、人体モデルによる検体採取、個人防護具着用を行いました。多くの方が興味を持ち、体験コーナーに参加してくださいました。

今回はInstagramを使用した広報活動も行い、参加された方は幅広い年齢層で、学生や社会人が学校紹介コーナーに来られ、詳しく説明を受けていました。今後、臨床検査技師が増えることを望みます。

体験コーナーは楽しかったという意見が多く、企画者の一員としてホッとしました。多くの皆様に検査体験を通じて検査技師のことを楽しんで知ってもらえたと思います。

コロナ禍で、臨床検査技師の知名度は少し上がっていると思いますが、検査技師ができる仕事内容までは認識されていないと思います。今後も「検査と健康展」を通して、臨床検査の正しい知識とその普及・啓

発を行い、国民の健康づくりの意識の高揚を図りたいと思います。参加スタッフも一般の方と触れ合うことで貴重な体験ができました。

(富山県臨床検査技師会 辻田 由加利)

石川県



石川県ではショッピングモールで「検査と健康展」を開催し、無料で健康チェック(骨密度、血管年齢、物忘れチェック)を実施して県民の健康意識向上に努めております。今年も219名という多くの方にご参加いただきました。また、今年は新たに臨床検査体験コーナーを設置し、「顕微鏡をのぞいて見よう!」「心電図って見たことある?」「見えているものは何?超音波の世界を体験!」と題して、臨床検査に関する認知度向上を目指しました。どれくらいの方が興味を示してくれるのか不安でしたが、顕微鏡観察(血液像)44名、心電図体験(四肢誘導)42名、超音波検査(果物ゼリーの描出)44名の参加がありました。臨床検査体験コーナー設置によって子どもの参加が多くなり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に参加してもらえる「検査と健康展」になったと思います。体験コーナーに参加した少年たちが「物忘れチェック」にチャレンジ!でも意外と「今日は何日?」がわからず、全問正解まで何度も挑戦!それを温かい目で見守る若手検査技師とお母さま達、地域の皆様と臨床検査を通して交流できたと思います。今後も臨床検査技師について知っていただく契機となるよう活動していきたいと思います。

(石川県臨床衛生検査技師会 河村 佳江)

岐阜県



今年度の「検査と健康展」は、中部圏支部医学検査学会と日程が重なったことや、準備の過程で会場変更もあり全部門のイベントを実施することができませんでした。参加できる部門からはエコーを使用した中身当てクイズや、顕微鏡をのぞき血液細胞を確認したり、模擬検体での血糖測定など検査の内容や仕組みを体験したりする企画が集まりました。普段は目にする事のない臨床検査機器に接することができ、どのように自分たちの検体が検査されるのかということの理解につながったと思います。また、高校生の方が熱心に顕微鏡をのぞき技師から血液細胞の説明を聞く姿もみられました。臨床検査専門医会から先生がお越しになり、来場者の健康相談をしていただきました。

病院ではなく楽な気持ちで先生にお話ができる場であるので、時間をかけて質問される姿が見られました。

「検査と健康展」をショッピングセンター等の人が集まる場で行うことで、活動自体が来客された方の目に留まり、臨床検査や検査技師の仕事が理解できる一つの手段になっていると思います。その方が医療機関に行った際に臨床検査を思い返していただけたら良いと思います。

来年度は、岐阜県が中央会場となりますので、規模が大きくなります。多くの方に来場していただき、より身近に臨床検査を感じていただくことや、学生の方が臨床検査技師に興味を持っていただける場としたいです。

(岐阜県臨床検査技師会 澤野 晴夫)

静岡県

静岡県臨床衛生検査技師会は、2023年11月23日(木祝)静岡市清水区エスパルスドリームプラザにおいて「検査と健康展」を開催しました。

この日は天候に恵まれ穏やかな陽気なこともあって、会場に足を運ぶ来場者が多くいらっしゃいました。開門と同時に各ブースは来場者で埋め尽くされ、延べ1,000名近くの来場者がお見えになりました。来場された方々は自分の興味ある検査を体験したり、普段関わることのない検査に触れたりし、検査に対して大変興味深さを感じている様子でした。また、担当するブースで検査とその説明を行っている検査技師さんはいつも以上に輝いていました。

医師相談コーナーでは静岡県立総合病院の島田俊夫医師にお越しいただき、来場者の検査結果に対する説明から健康へのアドバイスを行っていただきました。

「検査と健康展」を開催したことによって、来場者に対し臨床検査技師という職種を知っていただく絶好の機会になったと実感しています。また、来場した子どもたちが将来、臨床検査技師という職業を一つの選択肢に挙げてくれる機会となってくれることを願っています。

(静岡県臨床衛生検査技師会 原 宜紀)

愛知県

新型コロナウイルスおよびインフルエンザ感染症の流行期の最中でしたが、令和5年11月12日(日)イオンモール熱田にて、全国「検査と健康展」を開催することができました。臨床検査体験コーナーでは顕微鏡を使って血液細胞を観察するとともにそれぞれの細胞の働きについて学び、超音波検査コーナーでは、実際にプローブを操作してもらいゼリーの中のフルーツがどのように描写されるの



か観察していただきました。その他にも尿試験紙を用いてジュース対象に検査するなど、臨床検査技師のお仕事について多くの方に興味を持っていただくことができました。

また、無料健康チェックコーナーでは骨密度、血管年齢測定を実施し、臨床検査技師による結果説明とともに日常生活における改善ポイントを指導しました。今回、大きなイオンイベントと重なったこともあり、来場者は延べ420名と去年の半数にはなりませんが、待ち時間や体験時間にゆとりを持つことができ、体験者とのやりとりを楽しみながら行うことができました。

今後も臨床検査について正しい知識とその普及・啓発活動とともに、一般の方とのふれあいの場を大切に

して、公益事業に取り組んでいきたいと思っています。

(愛知県臨床検査技師会 和出 弘章)

三重県



令和5年11月19日(日)近鉄百貨店四日市店で、一般市民を対象とした全国「検査と健康展」を開催しました。スタッフは、賛助会員2名、学生7名を含む総勢38名で、四日市医療看護大学および、鈴鹿医療科学大学の学生の方にも学校紹介や、会場案内等のお手伝いをしていただきました。

検査内容は、骨密度測定、頸動脈エコー検査、血管年齢測定、認知症プログラム、血圧測定を行い、希望者には医師による検査相談も行いました。また昼休みを利用し、臨床検査ミニ講演と題し、2名の臨床検査技師養成校の学生が、これから描く臨床検査技師像について講演しました。一般市民の参加者は、骨密度測定：74名、血管年齢測定：69名、頸動脈エコー：67名、認知症プログラム43名、臨床検査技師ミニ講演48名、医師相談28名で、延べ389名が参加されました。一般の方々に臨床検査および臨床検査技師の重要性を知っていただくことができたと思います。

(三重県臨床検査技師会 中西 繁夫)

福井県

今年度は「測定コーナー」<体験型ブース>を設営して骨密度測定、脳年齢測定、生物顕微鏡による鏡検体験(病理・血液など)、尿一般定性検査の説明などを行いました。また、来場の皆さんに我々の職業「臨床検査技師」を知っていただき身近



に感じてもらえるよう、展示パネルには臨床検査に関連したポスターの掲示や「白衣で写真を撮ろう！」コーナーを設けて学生の方やお子様方に着衣いただき記念写真を撮る企画も行いました。コロナ渦前の開催時と比較して来場者数は3分の2程度で来場者数は減少しましたが、それでも興味をもたれて会場を覗いていただいた方々が一定数確保できたことは良かったと感じています。商業施設での集客方法には制限があったりもするので次年度の検討課題と考えます。又、＜測定コーナー＞は成人、お年寄りの方、＜体験型ブース＞はお子様といった世代中心に盛況で、今回も変わらず喜んでいただけたことで今後も継続していきたいと思えます。

(福井県臨床検査技師会 猿木 邦之)

京都府

「検査と健康展」のイベントを開始して以来、ずっと福知山市で開催していましたが、今年度から京都市内で開催しようということで、イオンモール京都桂川で開催しました。やはり、ショッピングモールということで、参加者の年齢層は若い方たちが多くなりましたが、健康意識が希薄だと言われる若年層に一定の理解が得られたと感じております。

今後とも同地域で開催することで、信頼を得て参加者増につなげ、多くの市民の方々に臨床検査技師の知名度向上と健康に寄与できたらと考えております。

(京都府臨床検査技師会 園田 真之)



大阪府

令和5年度全国「検査と健康展」in大阪は、日本で一番高いビルであった「あべのハルカス」がある近鉄阿部野橋駅から電車で約15分、近鉄藤井寺駅近くの「イオン藤井寺ショッピングセンター」にて開催しました。2階エスカレータ横のオープンなイベントスペースは、人通りから近く、「あれ、何やってんのかなあ？」と興味が沸くように府民の視界を遮らないようにし、非侵襲性ヘモグロビン測定、血管年齢、頸動脈エコーを配置しました。府民への呼び掛けは「貧血をチェックしませんか?」、「動脈硬化のチェックをしませんか?」など内容を具体的に分かりやすくを心掛けました。もう一つの会場のイオンホールでは、「臨床検査業務紹介動画放映」のほか、「骨密度検査」、少し時間が掛かる「もの忘れチェック」、じっくり見て欲しい「顕微鏡を覗いてみよう」、子供たちが白衣を着て写真撮影をする「なりきり検査技師!」のコーナーをそれぞれ設置しました。

広報は当会HP、会場であるイオン藤井寺ショッピングセンターHPイベント情報への掲載のほか、開催日の



兵庫県

健康チェックの参加者数は、頸動脈エコー216名、体組成測定166名、Hb測定203名、血管年齢測定240名で、多くの方が健康に関心のあることが分かり、非常に盛況な企画となりました。参加者には、「健康チェックを1年間待っていた」というリピーターもおり、地域の方は健康に関心があり、このような機会を望んでいるのだと思いました。

子ども向けの体験コーナーでは、顕微鏡で野菜の細胞を観察する、エコーでゼリーの中身を観察する、災害マップを親子と共に作成する(情報共有)という3つの企画を実施いたしました。検査に興味を持ち参加していただき、参加者数は125名とこちらも盛況となりました。エコーの体験では、タコの足、レンコンなどを入れたゼリーを作り、エコー画面で見えるものは何かを参加者に答えてもらいました。子ども(参加者)が楽しく体験しており、興味を示す内容であったと思います。

今年度の「検査と健康展」も、リピーターも含め健康チェック、子ども向け体験ブースへの参加者数は多く、地域の方へ健康意識、臨床検査技師という職業について伝える機会になったと感じています。

(兵庫県臨床検査技師会 澁谷 雪子)



奈良県

令和5年度日臨技主催「検査と健康展」を地方会場の一つとして、イオンモール大和郡山で開催しました。当日は天候に恵まれず曇りでしたが多くの方の来場があり、会場はおおいに賑わい3年ぶりの開催ができました。各検査コーナーには行列ができませんでしたが、絶え間なく来場者があった印象です。血管年齢は人気がありました。測定時間があるので待ち時間が多少ありましたが、来てくださった方々は検査を受けられ、結果を真剣に聞



きかれていました。臨床検査技師という職業を広く知っていただき、健康に興味を持っていただける良い機会になったのではないかと思います。

(奈良県臨床検査技師会 大西 大樹)

和歌山県

今年の全国「検査と健康展」和歌山会場は、11月11日(土)に昨年と同様イオンモール和歌山で開催しました。この日は偶然にも「臨床検査の日」と重なり、何か良いことが起きそうな予感がしました。さて新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類相当になり、今年は来場者数の増加が大いに期待できるので、事前ミーティングでスタッフに対し、来場者の皆さんに怪我のないよう、また「極上のおもてなし」をしていただくようお願いしました。

AM10:00丁度に「ただいまよりオープンいたします」の管内アナウンスがあり、いよいよ始まったなと思っていると、目当ての商品があるかの如く走って会場に到着された方がおられ大変驚きました。と同時に幸先のいいスタートが切れたことを実感しました。当日は早い時間から来場者が続々と訪れ、各ブースを丁寧に体験されていました。今回は家族連れで来られた方は子どもたちだけが体験するのではなく、親御さんも一緒に体験されていたので、滞在時間が長く、いつ見ても会場がいっぱいでした。また日臨技から配布された認知症に関するポスター前では、年配の方が真剣に読んでおられたのも印象的でした。

あっという間の6時間でしたが、総来場者数は155名と、昨年の36%増で大盛況にて終了しました。今回イオンモールでは、「検査と健康展」を開催している旨の管内アナウンスを複数回していただいたことも集客に繋がったのではないかと思います。またどのブースのスタッフも丁寧に視線を合わせて説明・傾聴していただき、来場された皆様もご満悦の様子でした。「極上のおもてなし」目標達成です。どうもありがとうございました。来場いただいた方々には、少なからず健診の重要性を認識していただけたのではないかと思います。来年も足を運んでいただきますようお願いいたします。

(和歌山県臨床検査技師会 秋田 豊和)

鳥取県

開催会場が2階ということもあり来場者数が心配されましたが、日曜日開催、館内ポスター掲示や放送、パンフレット配布の効果もあり準備した150部の資料を全て配布、



会場アンケートも81枚回収することができました。10代から60歳以上の様々な年代の方に来場していただき、パネルによる検査説明や顕微鏡、超音波装置を興味深く体験していただけたと思います。来場者からは、「いろんなことをされているんだと感心した」「実物に触れる貴重な経験だった」「丁寧な説明で分かりやすかった」「もっとたくさん見たい」という感想をいただきました。顕微鏡観察や超音波装置といった機器に実際に触れることで検査や検査技師という仕事に興味を持っていただけたと思います。

(鳥取県臨床検査技師会 入江 愛子)

島根県

11月18日(土)イオンモール出雲にて令和5年度の「検査と健康展」を開催しました。急な寒気襲来で初雪降る中での準備でしたが、実務委員25名のこの日初めて集まったとは思えないチームワークで何とか乗り切りました。また、悪天候の中で来場者があるのかどうかを心配しましたが、事前の広報や、施設内を回って案内した効果もあり昨年を上回る来場者で時間帯によっては待ち人が並ぶ場面もありました。

今年度は、検査と認知症のパネル・ポスター展示、健康チェックとして血圧測定、骨密度測定、血管年齢測定(指尖脈波検査)、貧血検査を、職業体験として超音波検査の体験を実施しました。健康チェックでは検査結果だけでなく「結果を改善するにはどうしたらよいか」と質問され、来場者の健康意識の高さを実感しました。超音波装置の体験コーナーは、外側を隠したフルーツゼリーの中身を当てるクイズ形式で実施しました。参加した子ども達が興味を示してくれ、臨床検査技師をアピールできたと思います。ちなみに正解率は高かったです。

今回参加した実務委員は若手技師が多く、対応の難しいところは先輩技師に頼りその対応や内容に耳を傾け学ぶ場面や来場者と談笑する場面も見られ、若手技師の技師会活動参加を有意義なものにする良い機会となりました。

(島根県臨床検査技師会 石倉 陽子)



各地から開催時の工夫や参加者の楽しそうな様子を報告していただきました。

ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました!



現行制度の下で実施可能な範囲のタスク・シフト/シェアに関する研修会を本日から開催

「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト シェアの推進について」（令和3年9月30日付 医政発0930第16号 医政局長通知）により解釈が示された14行為（当会HP <https://www.jamt.or.jp/task-shifting/promotion/> を参照）は現在、明確に臨床検査技師が法的に行えると示され、国より推進を求められています。

法改正により追加された業務は「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の受講が必須ですが、現行制度の下で実施可能な行為についても、理解を深め、臨床検査技師による実施を推進するため、以下の研修会を開催いたします。是非、ご参加ください。

「タスク・シフト/シェア：心血管治療関連 その1」研修会

テ ー マ： 今こそ臨床の現場へ カテーテル室ってどんなところ
会 期： 令和6年3月1日（金）～8月31日（土）
申込締切： 令和6年8月16日（金）
会 場： Web 開催（日臨技Web研修会システム）
受講資格： 日臨技会員
受 講 料： 無料
点数付与： 生涯教育研修制度 専門教科 20 点
心血管インターベンション技師制度（ITE）更新単位 5 点

「タスク・シフト/シェア：輸血関連」研修会

テ ー マ： 輸血チーム医療に関する理解を深める
会 期： 令和6年3月1日（金）～8月31日（土）
申込締切： 令和6年8月16日（金）
会 場： Web 開催（日臨技Web研修会システム）
受講資格： 日臨技会員
受 講 料： 無料
点数付与： 生涯教育研修制度 専門教科 20 点

申込・受講方法 いずれも会員専用ページから事前参加申込み後、受講いただけます。



- ① 「事前参加申込み」画面を開き、該当研修会を選択して事前参加申込みをする。
- ② 「申請参加申込済一覧」に表示される該当研修会の「講義受講」ボタンから受講を開始する。

（編集後記）今年の冬は歴史的な暖冬でした。我が山形県でも顕著な雪不足で冬季国スポ開催が危ぶまれ、あちこちから雪をかき集め何とか開催にこぎつけたようです。小雪を喜ぶ人が多い反面、あるべきところがないというのも困ります。本号では「地域ニューリーダー育成研修会」「検査と健康展（地方会場）」の特集です。どちらも日臨技の重点事業です。本号が皆様にとって興味深い内容であれば幸甚です。次号もお楽しみに！

（植木）